

# 平成 27 年度 教員免許状更新講習・シラバス

講座 番号	9	講座名	英語授業改善のための理論と実践					
担当講師	開催地	時間数	日程	主な受講対象者	受講人数	講習形式	試験方法	
片山 圭巳 馬本 勉 R. スチュワート	庄原キャンパス	6 時間	8 月 1 日 (土)	小学校教諭、及び中 学校・高等学校英語 科教諭	30 人 (最少開催 人数3人)	講義 演習	筆記	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業を改善する視点と方法を理解し、具体的な実践をイメージできる。</li> <li>・ アクティブに英語力を高める方法を理解し、実践できる。</li> </ul>							
<p><b>【講座の概要】</b></p> <p>本講座は、小学校外国語活動および中学校・高等学校英語科授業の改善をめざし、理論と実践のヒントを提供します。講義とワークショップを組み合わせ、自らの授業を振り返りながら、新しい授業創りへの道筋を探ります。参加者自身の英語力向上にも資するよう、具体的な教材を用いた「英語学習体験」の時間も設けます。</p>								
<p><b>【講座の内容】</b></p> <p><b>講義 1：発音指導のヒント（担当：片山 圭巳）</b>          小学校に英語教育が導入され、音声教育の重要性が高まっています。教育現場において、教師の発音が生徒に与える影響は大きいと考えられ、また生徒の発音に対する適切なフィードバックが求められています。本講座は、学校で使用されている教科書などを題材に、発音指導への応用を考えていきます。</p> <p><b>講義 2：文法・語彙指導のヒント（担当：馬本 勉）</b>          英語習得過程にある学習者（の頭の中）の「文法」と「語彙」をいかに豊かにし、使えるようにするか、その方法の一つとして、フレーズを中心とした指導法 Lexical Approach について理解を深めます。具体的な方法として、英英辞典の活用法や、ペアやグループでの学習活動を体験し、その応用を検討します。</p> <p><b>講義 3：コミュニケーション指導のヒント（担当：R. スチュワート）</b>          音声や文字情報だけではなく、映像や文化的な情報を組み合わせながら、異文化間のコミュニケーションを深める方法を学びます。教師自身が様々なメディアから情報を収集する方法や、それを学習者に的確に伝える方法についても考えていきます。さらに、英語で授業を進めるための表現を実践的に学ぶ時間を設けます。</p> <p><b>講義 4：ワークショップ「アクティブに英語力をつける授業のヒント」（担当：片山・馬本・スチュワート）</b>          このワークショップでは、「アクティブで楽しい授業」と「確かな英語力の養成」をどう両立させるかをテーマに、受講者相互の実践レポート、グループディスカッション、プレゼンテーションを行います。県立広島大学庄原キャンパスで実施している全学共通教育英語授業におけるプロジェクトの成果と課題も紹介しながら、議論を深めていきます。</p>								
<p><b>【備考】</b></p> <p>試験の際、講義テキストとノートを持ち込みを認めます。</p>								

注) 予備日は8月8日(土)とします。